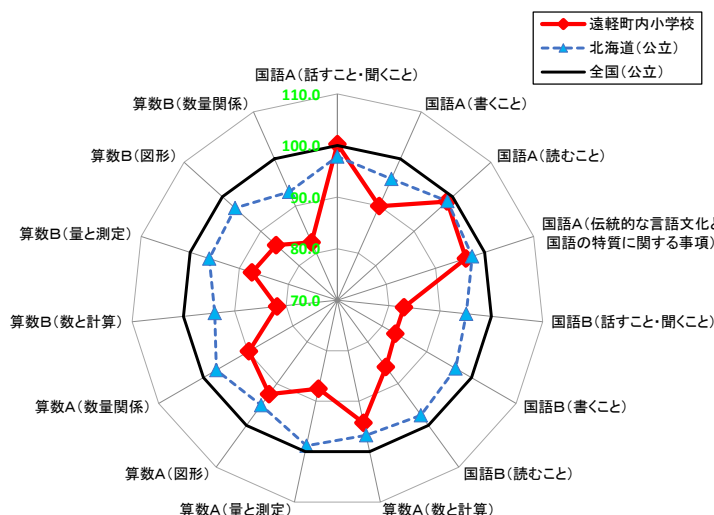


■遠軽町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9、児童数:155名)

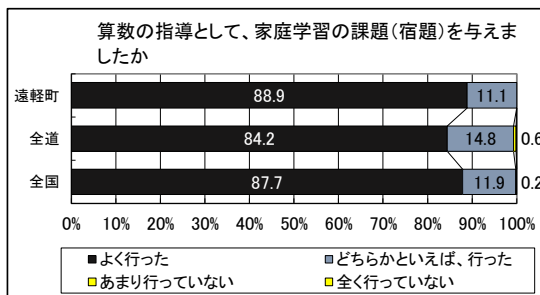
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

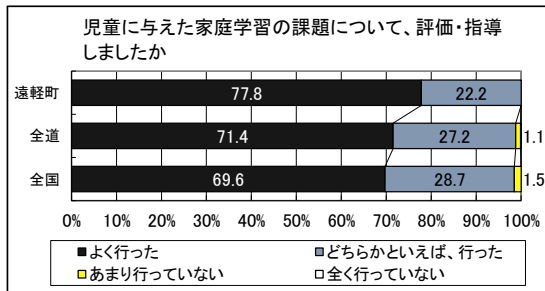
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



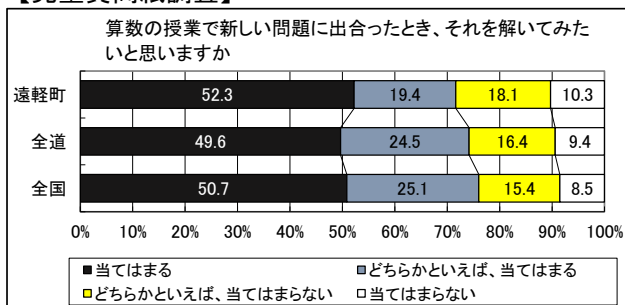
【学校質問紙調査】



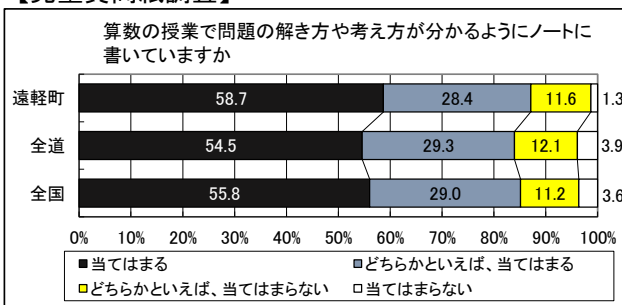
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教 科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与え、評価・指導することにより、新しい問題を解いてみたいと思ったり、解き方や考え方が分かるようにノートに書いたりするなど、学習意欲が高まったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えました」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

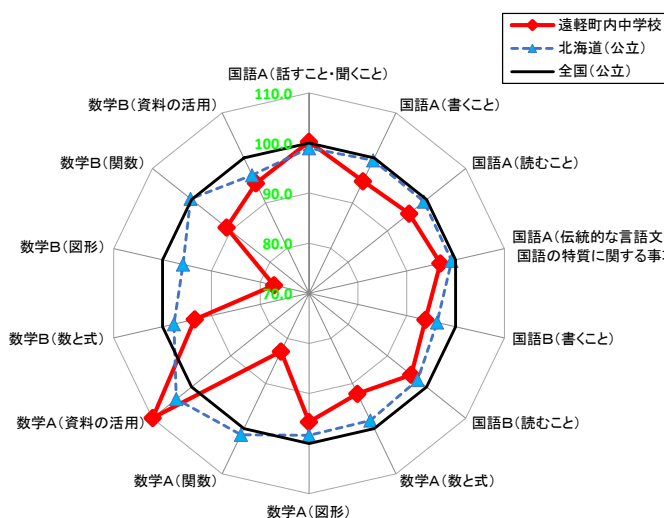
【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 学校図書標準数の達成するための図書の購入
- ◎ 特別支援教育支援員の配置
- ◎ 外国語活動における言語や文化に対する理解を深めるための英語指導助手の配置

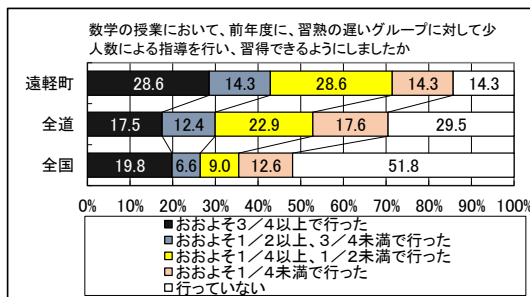
■遠軽町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7、生徒数:167名)

【教科全体の状況】

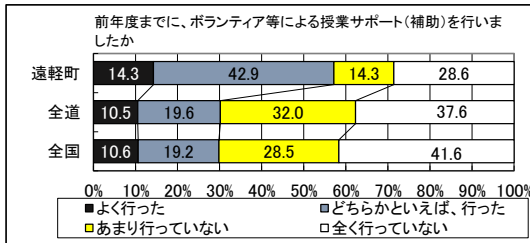
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



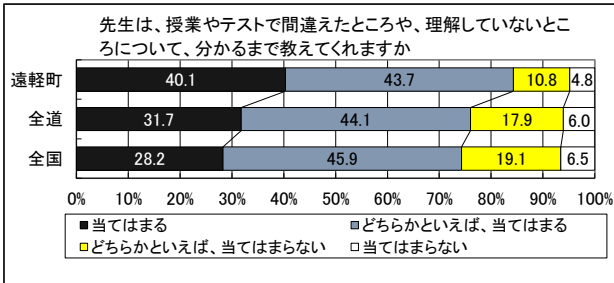
【学校質問紙調査】



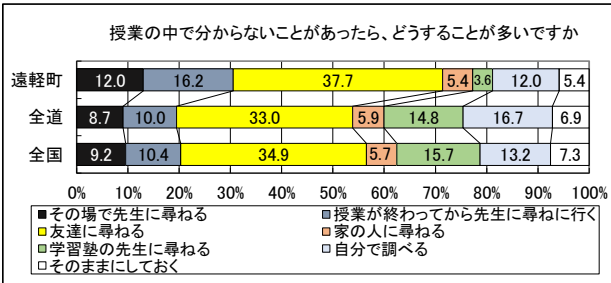
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で、全国を上回っている。	○ 学校が少人数による指導やボランティア等による授業サポート(補助)を行い基礎的・基本的な内容の定着を図ったことにより、授業の中で分からないことをそのままにしないなど、自ら主体的に学習に取り組む姿勢が醸成されたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか」の質問に、「その場で先生に尋ねる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか」の質問に、「おおよそ3/4以上で行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「前年度までに、ボランティア等による授業サポートをよく行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 学校図書の標準数を達成するための図書の購入
- ◎ 特別支援教育支援員の配置